

【国内研修】

（自動車整備科 1 年、一級自動車工学科 1 年、自動車整備・ボディリペア科 1 年、自動車整備・カスタマイズ科 1 年、国際自動車整備科 2 年）… 1 月

横浜の日産自動車のグローバル本社や歴代の日産車を展示している博物館を訪問し、日産車の歴史とその変遷をたどります。さらに、自動車の魅力をより知って欲しいことを目的に、東京オートサロンを見学します。タイミングが合えば、KONDO レーシングチーム、NISMO を見学します。



【スーパーGT レースへの参戦】… 4 月、8 月

日産自動車大学校と KONDO レーシングは 2012 年からスーパー耐久シリーズに参戦し、2016 年はシリーズチャンピオンに輝きました。2017 年、2018 年はシリーズ 2 位となりました。

2019 年より「スーパー耐久レース」から「スーパーGT レース」へのランクアップにより、日本で最高峰のレースを通して「プロのレースメカニック技術」、「レース運営のチームワーク」を学ぶ教育プログラムとして、主体的な人間性とグループや自らをマネジメントする力を養っています。参戦 2 年目の 2020 年にはシリーズ優勝、2021 年には 2 位、2022 年は再びシリーズ優勝に返り咲きました。

京都校では毎年、開幕戦となる岡山（4 月）、第 5 戦の鈴鹿（8 月）に、学生 40 名が参戦します。

さらに、2022 年からスーパー耐久シリーズへの参戦も再開しました。従来のスーパー耐久シリーズ同様に各学校で参戦し、京都校は 10 月の岡山戦に学生 10 名が参戦します。

＜背景・狙い＞

日産自動車大学校は全国に 5 校あり、約 1800 名の学生が在籍しており、全国日産販社を中心とした日産グループへ優秀なメカニックを輩出する役割を担い、育成を行っています。一方、KONDO レーシングは、スーパーGT レースにおける日産陣営の重要な役割を担い、これまで優秀な成績を収めました。そこで『真のクルマ好き人財』『組織に通用する主体性を持つ人財』を育成する、という両者の目的が一致し、共同プロジェクトが実現しました。

＜教育コンセプト＞

プロ意識として「チャレンジ」「チームワーク」「コミュニケーション」「責任と信頼」「継続」「感謝」という 6 つのキーワードを共有し、全員がチャレンジし、学びあうことをコンセプトとしています。



【学園祭】…10月

「学生の、学生による、学生のためのイベント」です。競技部門（体育系、技術系）とクラス部門（研究発表、模擬店）、更にゲームなどのアトラクションから構成されます。

整備技術を競う内容や自動車に関する研究、自分たちで考えたユニークな作品を展示するなど、自動車整備の専門学校らしい内容で盛り上ります。また、学生の主体性を重視することから、各学年から構成される実行委員を中心にプログラムを組み、運営します。毎年、多くの来場者がいらっしゃり大変盛り上がります。



【クラス活動】 …隨時

各クラスのチームワークを強くするために様々な活動を行います。活動内容や運営は、学生が話し合いで決めています。キャンプ場でのバーベキュー、ボウリング大会など楽しいイベントを通して、クラスの一人一人の結びつきが強くなっています。

【寮生イベント】 …・随时

日本各所から京都校に入学した学生のうち、寮で生活する学生に対しては定期的にバーベキューやパーティーを開くことで寮生間の仲間意識を高めます。また、地域の活動（祭りやボランティア活動）に参加して、地域にお住まいの方との交流を図っています。

また、京都に初めて来た学生に対しては、在学中に京都の名所を知つてもらうために、希望者を募っての観光ツアーも行っています。



【クラブ・同好会活動】 …・クラブ活動日

野球、バスケットボール、バレー、サッカー、硬式テニス、バドミントン、自転車部、ボウリングなどの一般的なクラブのほか、他校にはあまり例がないクライミングのクラブもあります。自動車整備の学校ならではの活動として、自動車整備部、自動車競技部、自動車遊技部、などのクラブ活動もあります。

野球、バスケットボール、バレーなどの運動系クラブは、公式戦への参戦のほか、日常は放課後に仲間と汗を流してリフレッシュして、翌日からの学校生活をより充実したものにすることができます。

自動車整備部では認証工場の資格を活かしてナンバー付き車両の整備を通して、実際に走っている車両整備の習熟に取り組んでいます。自動車競技部は、ラリーに参戦するほか、鈴鹿サーキットのオフィシャル活動（サーキットでのコース管理の仕事）なども行っています。自動車遊技部では、ミニ四駆の車体セッティングに整備の知識を加えたチューニングを行い、公式戦に活かしています。

